

【1-a】男性社会であることへの不満（社会、政治、行政など）
雇用する側の立場になった場合、純粋な労働力として期待できるのは 明らかに男性 であり、その差を埋める事は不可能だと思っている。法整備などで補おうとしても必ず歪みが生まれ（悪用する人間が出る）不公平の声が上がると思う。
結婚、子育て、親の介護をしながらも現在、常勤で働く主婦です。生活の為というより、 女性として社会との関わりを持ちたいという思い で共働きを続けてきました。勤務先では役職者はやはり男性が多く、女性としての意見が通らない事に歯がゆさを感じております。子育てに関しては、金銭的な補助よりも、子どもを預かる場所（学童や病児保育）の充実が必要だと思えました。今は親の介護に直面しており、介護サービスもフル活用しています。労働時間の短縮、在宅勤務等働き方の見直しは今が一番の課題です。介護離職はしたくないので…
能力のある人の積極的な登用が必要と思います。無理に女性の登用割合を増やすのはよくないと思います。まずは 女性が参加しやすい環境を整備 する必要があります。
・男性が育児休暇を取得することで子育てに関わるきっかけを作る。その後の子育てのかかわり方が変化。・男女の賃金を公表して、格差をなくす。・ 男性も女性も働きやすい環境 を作る事で、みんなが力を発揮できる社会は、それだけ豊かな社会となる。
私の勤務先は「男だから」とか「女だから」とか、そんなことで分けられることはありませんが、現状、 男女格差で悩んでおられる方 は多いのかなあと思います。そして、きっと誰にも相談できず、つらい思いをされてる方も多いのかなあと思います。そんな方を少しでも減らせるような取り組みが、こちらのアンケートを通して進められたらと願っております。
子供が生まれると男女の不平等が大きく現れる 。夫婦2人ともフルタイム共働きなのに、夫の方が残業が少し多いというだけで、平日のすべての家事・育児を女性が1人で担うのは大変。男性の労働時間が見直されれば良いと思う。たとえば、未就学児のいる親は時間外労働原則禁止など。
”男性らしさ””女性らしさ”は差別ではなく男性・女性の良さと思うので、そこを活かしつつ社会に対しては男女関係なく 意識・意欲の高い方がどんどん進出 していくべき。
男女共同とかいう時点でLGBTもアウトじゃない？今現在、女性が家の中心。 生活の面でも災害時でも女性の視点から 考えて欲しい。LGBTでトイレが不自由なら、どちらも入れるトイレが必要だ。そのために男性も座できるようにするとか、綺麗に使うとか。全てを男性目線じゃなく、一度女性目線で見ると今後の家庭、職場、災害時などに役立つのでは？
特に災害時に対して、女性や子供のプライバシーの確保に関する事は、早急に進めていかないといけないと思います。阪神大震災、東日本大震災と比べてみても、大きく年日がたっているにも関わらず、2つの震災の場面で同じような、 女性や子どもへの二次災害の報告 があがっています。震災で傷ついているにも関わらず、避難所などでのさらなるストレスは人間不信にも繋がる大きな問題です。広陵町においてこのようなことがないことを望みます。
男女平等をアピールする為に女性の管理職を増やしている企業も多いが、実際は男性で 社内最終決定 を行っており、女性の声は届きにくいと感じます。共働きの世帯も増えてきているが、結局家事と子育て・仕事を両立しているのは女性であることが多い。男性は家事を手伝えられない世帯が多いと思います。
女性の方が家事・育児をする時間が長いのは、ある程度仕方がないと思う。特に育児は女性しか子供を産めない為。ただ、目に見えない、形とにくい家事、育児を、仕事よりも 軽視されるような発言や行動はおかしい 。家事を分担、育児を分担と言うが、家事も育児も仕事も生活していくうえで欠かせない。不可欠なものと考え、不可欠なものをどう分担するのかだと考える。男性が仕事のみで、女性が家事・育児でも良いが、仕事も分担するのであれば、家事・育児の殆どが女性にのしかかるのはおかしいと考える。
男（夫）は仕事、女（妻）は家事という考えの中で育ってきました。でもこれからは女性も社会に出るべきです。それにはいくつものハードルがあり、常に仕事と家族の間でしんどい思いをしなければいけなくなるでしょう（私は仕事を辞めて家族を選びました）。もっと 女性が外に出やすい社会 になる事を願います。
別にありませんが、外で働けたら働いたらいいと思います。私も2人の子供が小学1年生から去年まで働きました。現在69才です。女の人が家庭だけにしぼられるのはいいとは思いません。 外へ出たら世間のこともわかります 。
男性の育児休暇取得など、制度はあるが簡単に受け入れられない環境もまだ沢山残っていると思う。昔のしきたりにとらわれず、 新たな理解 が必要であると考えます。
必要なことだと思う。 それは、労働力の減少の観点、個人の自由な生き方の観点から。 ただし、子どもは女性しか産めず、赤ん坊は生まれながらには母性を求める（母乳に代表される）など、女性にしかなれないことがあるのも事実であり、それが女性に不利にならないように 社会全体で支えていかなければならない 。
問12、問14-1、問19、問20について 男女の差ではなく、個人として差があつてしかるべきであると考え、（つまり、『夫は、外で働き、妻は家庭を守るべき』は賛成ですし、『妻は、外で働き、夫は家庭を守るべき』も賛成。『妻や子どもを養うのは、男性の責任である』は賛成ですし、『夫や子どもを養うのは、女性の責任である』も賛成。）答えに良かった。 多様性が求められる なか、男が優位、女が優位、平等の選択肢だけでは世情を拾いきれないのはないかなと思えました。
まだまだ男女が平等な社会では無いと思うし、実際に生きづらさも感じているので、 行政ももっと改革 に力を入れてほしいと思います。

広陵町男女共同参画に関する意識調査（自由記述）

<p>男女共同参画社会と言うが、現実には女性の負担は多大です。社会参加すればするほど、子供への負担は大きくなります。役職に付く仕事であれば、毎日定時に帰ることもままならず、家庭を顧みる余裕はないのが現状です。</p> <p>私自身、子供が学校に上がるのを機に、働いています。しかし、女性活躍推進として数字を上げるために役職を与えられ行政からうまく使われていると感じています。</p>
<p>男女以外の多様な性が存在するので名称を変更しすべての性別の人が豊かに暮らせるようになるとよい同性婚を認めたり虐待等による子供の死がなくなるようにする嫁 姑などの漢字が不快</p>
<p>女性女性とばかり話題にすると、それは男女平等にはならないと思います。</p> <p>ただ、女性に大きく関する法律や制度などを制定する際、男性しかその場におらず、男性の意見で決定される場面を目にした耳にしたりとすると、正直残念です。</p> <p>そういった部分では、より女性の活躍機会などを増やすことが大切だと感じます。</p> <p>育児に関しては、男性育休などの理解も深める必要があるかと思っています。</p>
<p>生まれた年代によるが私は男は外で働き女は家庭を守るのが当たり前であった。そんな時代に私も育ち、家事の事はあまりできない。今は男性も料理・育児へそして女性も外で働いている時代になり、私達の子供もそうであり、その時に育った男女はそれがごく普通と思っている。</p> <p>世の中に向けるとやはり女性は家事育児が主となっているのが多く見られる。その両親が子供に昔風にしつけてようになって乗り遅れている男女もいるんだろうと否定はしないが、ただ女性が昔と違ってこうしたい・なにかしたい事を周りが尊重し、行政や法人がそれを可能にする仕組みを作ってあげたらいいと思う。</p> <p>それで自然に男女が同じ土俵になる。</p> <p>だがあまり女性を優先し過ぎると男性の立場も尊重が必要だ。</p>
<p>性別によって植え付けられた当たり前をなくすべきだと思います</p>
<p>LGBTQなどを含めた差別解消を目指すなら、「男女共同参画」の名称では包摂されていないのではないかと、また、参画しているかどうかと、誰も対等で平等な地位を得ているかどうかは全く別なので、微妙な名称だと以前から感じている。</p> <p>保護者会や自治会など男性優位な慣習が依然として存在するため、行政は敢えて積極的に介入してもらいたい。</p>
<p>事実として、今まで女性が家事・育児を主に担っていたことは確かです。しかし、家事・育児の状況が変わらないままに、女性が働かなくては社会も家庭の収入的にも厳しくなっているため、負担だけが増えています。女性に過度な期待をされても困る、というのが本音です。</p>
<p>女性がもっと活躍を、できる場を増えていけたらと思います。</p>
<p>【1-b】男性社会であること的不满（家族 これまでの年長者）</p>
<p>私達が子どもの頃に比べて男女共同参画に社会も理解があると思うが、まだまだ田舎は昔の考え方が根強く残っていると思う。年配の人から考えを変えてもらえるようなサポートをお願いしたいと思う。</p> <p>外資系企業に勤務していたので、全く感じたことがなかったが、奈良は保守的で男性の考え方が、やはり昔ながらの男尊女卑の傾向があるのでは。私は当時、義母の介護の為、仕事を辞めました。</p> <p>古い固定概念が絶対的に間違っているとは思わない。夫婦で家事を分担していたとしても、仕事が異なる以上家事を完全に均等に分担することも難しい。それに、家事をしなくても、業者に任せる方法もある。要するに、それぞれの家庭にあった夫婦の役割を考え、社会がその答えを認めることが大切だと思う。</p>
<p>【1-c】男性社会であることの不安（家庭内 現在の子育て世代）</p>
<p>まずは身近な家族の理解が何よりも必要だと思います。理解がある上での協力も必要になると思います。子育ての後、仕事に再びつきやすい環境づくりも必要で、男女平等に働ける環境を作っていくことも大事だと思います。</p> <p>家庭によっても違うが、男の人はもっと子育てを積極的にしてほしい。2人の子なのに「オレは仕事で疲れているから」とか、「家にいるお前がして当たり前」などと古い意識のまま。本来育児は2人するのが当たり前なのに、女の人を下に見すぎているし。仕事もそれなりに大変なのは女の人でも理解しているけど、男の人は1日家にいて育児と家事を両立している人の大変さを理解しようとしていない。</p>
<p>【2-a】教育【子どもへの教育・啓発】</p>
<p>大人の意識改革は時間と努力が必要。子どもの教育の場から行うことも一手と思います。</p> <p>現状の生活内での教育、男女共同参画の取組が先決だと思います。例えば、小・中学校内授業でこのようなテーマを扱い、子ども達に考えさせる。小中学校のPTA活動など、役員はチケット制などにして女性（母親のみ固定）への半強制的な労働という固定観念を解消するなど、町をあげての思い切った取組が必要だと思います。（PTA活動は東京のように催促してボランティア活動の一環というスタンスにしてもよいと思っています）</p> <p>20年前に出産した際、入園可能な保育園がなかった事を思えば、今は時短や園の時間延長等、育児に関しては一旦落ち着いている。介護は先の見えない、又、社会人である場合は、会社を休めない職務であるケースが多い。介護施設の充実が今の課題（至急な）だと思います。LGBTQに関しては、自身日頃から意識が低い。低年齢からの教育や、正しい知識を身に着ける事から、社会ルールもきちんと整備されていないと感じ、課題が多い。</p>

<p>私は会社経営という立場上、多くの女性経営者、パート、従業員と接しています。同じ女性として育てられた環境、現在の周囲のサポート、そして何より自身の気持ちで男女共同参画は前に進むと思います。奈良が保守的な考えの方が多く、女性の就業率が低いという全国結果を見ると、女性自身がまだまだ管理職の責任や出来れば専業主婦でいたいという気持ちの人が多いかもかもしれません。子育てや介護をサポートしてくれる行政機関の充実は今後も、町としてできることをお願いしたいですが、男性、女性という“くくり”よりも人間としてどうしたら将来発展するのか？子供のうちからしっかり教育していくことが大事だと思います。</p>
<p>国が男女平等をかかげている、実際には男女差別や固定概念は残っている。当人が正しいと思っている為、悪意なく言われることも多い。でもそれは当人の問題なので、中々変えていくことは難しいと感じる。社会人になって自らがそのような学習の場に行かないと思う。やはり子供の時からの教育が大切でないかと思う。また、マタニティハラスメントを受けたことがあるが、個人業では不当な解雇もしょうがないのかと納得してしまった。実際に妊婦でも出来る仕事は限られてしまうので…仕事をあきらめる人は多いと思う。</p>
<p>女性である私が言いたい事は、女性は仕事に就くという事は非常に嬉しく思いますが、子供の教育も大事です。例えば、今お金がないから働く、それにつける気持ちが今の社会ですが、イライラとなり子供に当たる事が多くなってきています。例えばしつけもきつことをいわず理をとり、話をしてあげる子供に。又道徳も大事です。そして私の様に高齢者になれば主人と、互いに協力しながら、毎日を送る様にと常に思っております。毎日少しは仕事はしております。頑張っておりますよ…</p>
<p>学校現場においては、男女名簿から混合名簿になったり、女子の制服からスカートを廃止して体操服同様、男女とも同じデザインの県も増えてきました。技・家実習授業においても、男女の技術面の差は、今はありません。しかし、体操等の体力面においては、男女において大きく差が現れてきます。それぞれを踏まえた上で、男女共同参画を多方面から情報を共有して、男女ともに暮らしやすい社会をつくっていかねばと思います。只、学童勤務をしていると、“男のくせに泣くな”とか”女の子なのにテーブルが汚い”と怒鳴りながら注意される方々もおられる。その為、男女共同参画についての知識を、広くみんなに講習を受け、学んでいくことが第一のステップになると思います。又、幼児から自然に知識として身に着ける事も大事だと思います。</p>
<p>地域柄、家長制度がまだ残っている感じを受けます。今は我が家にいるので、ほぼ全ての家事をしています。息子にはこれが当たり前ではない事、自分の事は自分でする事（昼食の準備等）を言っていますが、やはり家事の手伝いをする能力は娘、息子共圧倒的に皆無です。社会の仕組みも大切ですが、育っていく中で学んでいく事も大切だと思います。親がイライラして子供にあたらないような、祖父母が子供や孫にきつい言葉を浴びせないような、みんながゆったりとした余裕の持てる生活ができる様な広陵町であって欲しいです。</p>
<p>男女共同参画社会というのと自体古いような気がします。今は男女と言う性に捉われない社会、多様性社会という言葉になっているのでは。多様性を意識させるには小さいころから男だから女だからと大人が言う事を止め、学校教育では1人1人が人間として自立できることを大前提とする教育を行う。男性教員ばかりが遅くまで学校に残っていたり、部活動の指導したりすることなく。男性教員と女性教員は同じ待遇であるということを見せることも一つの方法かと思えます。保育所の問題も母親がいつも前面に出てきますが、母親が働くために困っているという取りあげ方でなく、両親が働くための問題と言う取りあげ方をすべきではないでしょうか。家庭でも多様な働き方（男性が家事担当）が当たり前になるよう行政は制度設計を考えてほしいです。まずは女性議員を増やすことでしょうか。</p>
<p>小・中・高校等で男女共同参画についてもっと知る・学ぶ機会があればよいかと思いました。自分の家庭（親等）はまずどうかな？と考え始められるきっかけになるかなと思います。調査をし、統計を出して、それをどう町として還元していくかを教えてほしいです。いつもご苦労様です。</p>
<p>もっと、海外に目を向けて日本がどれだけ遅れているのか小学校教育から取り入れるべき。</p>
<p>小学、中学、高校からしっかり講習会や相談できる環境を整備する。 経験者の体験談やどのようにして解決したかの講演を行う 若いうちから普通のことだと教えることで将来的に当たり前の世の中になる。 また授業参観等で行うことで家族で話さきっかけを作りやすくできる。</p>
<p>特に教育の場での意識醸成がとても重要だと考えます。1970年代のフェミニズム運動を経験したものとして、パートナー間だけの意識変革では、なかなか家庭や地域の変化にまで至ることは難しかったと思っています。これからの子供たち誰もが大切にされる社会を願っています。ささいなことですが名簿の男女別順序等は改めるなど徹底してほしいです。学校現場は既にそうなっているかもしれませんが、例えば公民館活動等の名簿順を改めてはどうでしょうか。なんでこんなことをするのかと言う些細な疑問から、どの命も皆同じだと言う意識につながっていったらいいなと思っています。</p>
<p>【2-b】大人の意識改革</p>
<p>考え方、感覚は人それぞれだが、生物学的に無理がある部分がどうしても出てしまうので、人々の理解と選択肢が増えるといいと思う。</p>
<p>女性が家事を担うのが当たり前の風潮です。女性側もそう思っている人が多いので、意識の改革が必要だと思います。男性も楽しく育児や家事が出来るような提案からしていけば、少しずつ変わるのではと思います。まず家庭が整って女性が参加出来るようになるのではと感じます。</p>
<p>もう20年以上法律が出来て経つにも関わらず、なかなか人の意識は変わりません。しかし社会全体としては少し変わってきてあります。今の子供達が成人となる頃には、当たり前なのかもわかりません。古い世代の交代が進むことで、促進されることを願っています。</p>
<p>女性が社会で活躍する場があるのは素晴らしい事だが、現実には、子供がいる女性職員が休むなどして、子供のいない女性職員に負担がかかっていることも知って欲しい。不妊治療しながら、その負担もかかるストレスをどれだけの人が理解できているのか？それぞれの立場に置き換えて考えられることが大切ではないだろうか？</p>

<p>私は保育士です。保育士の立場からの意見を書かせていただきます。基本的に男女平等であるべきですが、出産は女性にしかできないという事から、女性が一時期仕事を辞め、育児に専念する事はよいと思います。（男性も家事育児をすることは大前提です）そして、また仕事をしなくなった時に保育サービスは必要ですが、それよりも何よりも“子育てする楽しさ”や子供と一緒にいる事が楽しい、カッコ良いと思えるような意識付けが出来れば世の中は変わり、少子化も止まると思います。今の世論、メディアは「子育てのしんどさ」ばかりクローズアップし、子供を保育園に預けられない悲劇というような事ばかりを言います。子育てを楽しむ（しんどさを含めて）事が、かっこよいステイタス！という風に発信すれば変わると思います。そうすればたとえ一時期女性が家事育児に専念せざるを得ず、保育園に空きがなく、仕事に制限がかかったとしても、負担に思わない女性もいると思います。なぜならそれは不平等ではなく、「かっこよい」ことだからです。</p>
<p>40代の自分は育った環境の影響もあり、どちらかといえば家庭のことは女性が中心でやるものと思っがちです。 近年は働く女性（正社員、パート含む）も増えているため、家事育児を男女同じくらい行うには各家庭での話し合い（意識改革）、職場の理解（休暇など）が必要だと思ひます。</p>
<p>現状、トップの人間が考え方を変えない限り変わらないと思う。 時代に沿う柔軟な考え方ができる人が増えたら良い。</p>
<p>子育てや家事を男性も女性と同じ位出来るように、時短をもっと取れる、就業時間の短縮等、勤め先が理解ある行動をしていくには中々進んでいかないと思う。 今の職場も休み自体取りにくいわ、自宅から遠い勤務地に異動させられるわ、勤務時間は長いわで妻にばかり負担がかかっています。今の時代に則した柔軟性のある企業を増やしていくのが必須かと思ひます。</p>
<p>賃金の安さ等現時点で、平等ではないことがあります。 日本の歴史的な考えや昔の人の考えで、家事は女 仕事は男というような風潮があるためその風潮を変えないと行けないと思う。</p>
<p>長年議論した結果何が変化したのか分からない。</p>
<p>【3】町の施策・周知（制度、情報）</p>
<p>身内に保育士がいますが、重労働の割に賃金が安い。周りの保育士仲間の方々も早く産休育休を取りたいと思っているみたいで、元気でやる気のある若い人々の本当のやる気をなくさせない為にも、保育士の賃金をアップさせた方がいいと思ひます。あと、介護職の賃金も上げないと続けてもらえる職ではないと思ひます。乳幼児と老人、この保育・介護の担い手を継続して確保することが、行政の仕事だと思ひます。</p>
<p>職場においても、女性の管理職を増やすことが必要。保育サービス、介護サービスにおいても、女性のみにも負担が大きい点も、男性にも負担を授けられる。職場及び行政の改革が必要です。日本の人口減少。子供を育てやすい環境及び行政や職場環境でなければ、だんだん人口減少が進み、社会構造を維持することができない日本になって行く。</p>
<p>LGBTQIに対するパートナー制度を確立させてほしい。</p>
<p>加給年金や遺族年金では専業主婦である方が、支給のされ方や税金が優遇されている。家庭内も大切であるが、法律で手厚く保護されている人はこのままで良いと思ってるのではないかと思ひます。男女共同参画では短時間で収入が少なくても、年金の税金や税率は同じであるような、法律の改革の取り組みも話題に入れて欲しい。</p>
<p>男性側（働き手）が生活費を大きく担っていると思っるので、大幅に賃金を上げていかないと何も変わらないと思ひます。まだまだ男性社会の中男女平等、男女共同参画を実現していくためには老若男女のモラル、考え方の問題なので、学習機会がかなり多く必要だと思ひます。</p>
<p>今春から結婚出産後初めて、子供を保育園に預けてパートとして就労復帰しました。が、子供の発熱や園行事で休むことも多く、職場に申し訳ない気持ちを抱えながらの勤務です。自分がやってみて改めて、働く母はなんと大変なのかとより一層思ひます。子供が熱を出したとき、当然のように母親が仕事を休むという風潮が社会全体でまだまだあるように思ひます。我が家もそうです。出産後、女性が働くか否かは、家庭ごとにそれぞれの考えがあると思ひます。どちらが良いともいえないと思ひます。ただ、どちらの選択肢も選びやすい制度、社会であればと思ひます。私の周りでは、女性が男性同等に活躍できる環境は正直ありません。</p>
<p>行政よりも、企業サイドの柔軟な対応が必須となる様な法律・制度のしほりが重要であると思ひます。</p>
<p>男女共同参画をすすめることは良いと思っますが、個々に考えがあると思っるので、それを望まない人やそれにより個性を発揮できないのは良い姿ではないと思ひます。受入れできる環境を整えておくことは大切なので、準備だと思ひます。男性が出来る家庭のことと、女性が出来る（得意な）家庭のことなどで力を発揮したらよいと思ひます。</p>
<p>まず男女が平等であるという考え方が不可能な考え方だと思ひます。女性は、女として生まれた時から子孫を残すという使命がつきまとう、自分自身がその事実を認めなくても社会から見たら少数派の考え方なので、まだ今の日本では多くの人からは認められにくい選択。女しか子供を産めないという時点で女性は社会的に弱い立場であり続けると思ひます。ですがこの事実は変えられないので、男女平等の社会を作っていくのなら、その様な仕組みづくりを国がするしかないと思ひます。なので私は法律や制度の見直しを早急に進めるべきだと感じます。育休が何も抵抗なく取得できる環境、時短勤務気軽に認められる環境、このような点を見直していかなければ、男女共同参画社会など言葉だけにすぎない。早く女性が男性と平等に生きていける社会が実現される事を強く願ひます。研修や講習等は税金の無駄なので、やる意味は全くないと強く感じます。</p>
<p>アフーマティブアクション等の是正措置として優遇は逆差別につながるため、例えば議会では女性議員の数を増やすのではなく、立候補者の数を男女同じにするなど、結果ではなく機会の不平等を是正する制度が望ましいと考える</p>
<p>女性がもっと社会に出て働けるよう、勤務時間の融通が利ける体制をとってほしい。（時短勤務のバリエーションを増やしてほしい）</p>

地域の中での支援体制や独自のサービスに何があるのか。またその利用の方法、自分自身が**支援者になれる方法**などが分かっているれば、**もう少し色々な助け合いが出来る**と思っている。自分の発信力もないが、発信されている情報をうまく活用できるためのアドバイザー的な人材がいれば、地域の中の一員としての役割ももてるのではと考えている。今後近隣地域の中での繋がりを強化しないと、社会は回っていかなくなる。自分も参加する場があればと思う。

（教員のように）自分が仕事を継続できない場合には、すぐに職場に負担を掛けずにその期間を補ってくれる人、**システムがほしい**。

男女共同参画社会基本法が制定されて四半世紀近くが経過するにもかかわらず、真に男女が対等で平等の立場から生きていける社会が実現されているとは言えない状況が続いていると感じています。男女共同参画社会を実現するためには、**法律や仕組みなどの社会の制度面からの改革と、人々の考えや思想信条**と言った一人ひとりの意識の面からの取り組みが必要ではないでしょうか。社会制度面の改革・改善についてはそれほど広い知識があるわけではないので、具体的な提案や問題指摘ができる見識を持ち合わせてはませんが、ただ、昨今訴訟なども多く提起されながら未だ最高裁の最終判断で認められていない「夫婦別姓」問題については、極めて残念な状況であると思っています。多くの場合結婚後には女性が男性の性を名乗ることが多いわけで、社会に出て働き自立している成人が、ある時点で自らのアイデンティティの最たるものである「姓」を変更しなければならぬとすれば、それまで積み上げてきたキャリアを捨てるにも近い状況が起こりうるなど、そのデメリットはとても大きいものがあると感じます。結婚により姓を変更することは、古い過去の「結婚すればどちらかの家に入る」と言う時代の旧弊そのものです。そのような時代感覚を引きずった民法を合憲とする裁判所の、多くの裁判官の考え方に失望以上のもを感じていると言うのが正直なところです。次に、人々の意識の面からの改革の取組みについてですが、このことについては短期間で状況がよくなる即効薬的なものは無いと思われませんが、だからと言って後回しにする、優先順位を高くしないということではないと考えます。ありきたりかも知れませんが、PRや広報、セミナーと言った啓発活動などを地道にやり続けることも大切です。その際には、一人ひとりの意識の違いを踏まえながら、内容等に工夫を凝らすとともに、実施しただけに終わらず、その後のフォローアップや参加した人を出発点とした周りの人たちへの広がりのための仕掛けも必要かと思えます。（具体的に無くして申し訳ありません）また、意識改革のために重要なポイントは、考えや思いと言った意識レベルと、社会や家庭での具体的な行動レベルとのギャップが存在する可能性があると言うことです。と言うのも、どちらかと言えば私自身については、男女は平等で女性の社会参加についても理解し実践してきたつもりではあったのですが、今回のアンケートにお答えしていく中で、**自身の意識と実際の家庭での行動に大きなギャップがある**ことに、恥ずかしながら初めて気が付いたというか、気付かされたところです。思い込みと言うのは危険なものです。こうした意識と行動との乖離を埋めていくということにも注意していく必要があると感じました。

男女共同参画は、行政と住民が共同でできる**法律**を具体化してほしい。

すべての事に対して、一律に平等にするのは、能力の差もあるので、難しいと思います。ある程度、能力に見合った分担をせざるを得ないのではないかと思います。また、すべての女性が、働きたいと思っているか、疑問です。私の妻も、できれば働きたくないと思っているタイプです。私のところの場合、やりたいことが他にあるけど、子供の教育費が足りないのやむを得ず働いています。論点がズレるかもしれませんが、女性が働きやすい環境づくりで保育園を充実させるのも良いですが、**教育費がかからない社会**になれば、共稼ぎしなくていい家庭は増えると思いますし、その上で、**男性の育休制度や、時短勤務**などが充実したら、家事、育児などの分担がしやすく、ワークライフバランスのとれたいい働き方ができ、やりたいことにも取り組めるのではないかと思います。

男女ともに労働時間の短縮が必要だと思います。制度が整っても、それぞれの労働環境によって活用できる・できないの格差が生まれるように思うので、**ワークライフバランスの啓発や強制力のある取り組み**が必要だと思います。

子育て支援の拡充や、子育て中の就職支援など、働きたくても働けない保護者にもっと目を向けてほしいと思います。

行っている**支援の内容**など、町のホームページや広報で**すぐ分かるように**してほしいです。

出産や育児、子育て等の中で、どうしても母としての役割、女性にしかなれないことがあると思います。その役割を踏まえたうえで、男性と同じ機会均等が得られるように**社会の障壁を取り除く制度や支援**をつくっていく必要があると思います。一方で、社会が男女平等を過度に意識しすぎて、男性から見れば過度な女性優遇がされていることもあるので、それぞれの立場から障壁を整理し、お互いの機会均等が図られるようにしないとイケないと思います。

高齢世代には、いまだ男尊女卑の考えがうかがえる。世代問わず、男女平等の啓発機会を設ける必要がある。学校教育、企業研修でまかなえているが、その枠組みに入っていない層には、**地域行政での啓発仕組み**が今以上にありたいと考える。

社会の概根を変革させる為にはもっと**行政がイニシアティブ**を取って動く必要があると思う

<p>私にはLGBTのパートナーがいます。 彼は生まれの性は女性ですが 自認している性は男性です。 私は彼と早く一緒にになりたいと思っています。 私は広陵町、彼は河合町に住んでいますが、両町ともにパートナーシップ制度がまだ認められていません。 なので、付き合っている、どこか周りに言いつらく、また、何を言われるかも怖く、外で堂々と手も繋げません。 周りの男女で付き合っているカップルの子たちや、結婚をしている友人知人、幼なじみ、子供がいる子もいます。 パートナーシップ制度が認められ次第、結婚をしたいと考えています。 実現すれば、きっと臆することなく、堂々と出来ると思います。</p>
<p>古い考え方にとらわれた法律や制度が多すぎると思います。同性パートナーはあらゆる面で早く認められるべきだと思います。</p>
<p>男女共同参画が進む現代において、未だ男女差が明確に出ているのは、出産や育児の場面だと感じます。全ての人が出産・育児休暇を取得しやすい体制、加えて、男女の双方が話し合い、それぞれの希望に合わせて気軽に育児に関われるような制度や社会意識を作っていく必要があると思います。</p>
<p>【4】町への要望</p>
<p>男女共同参画の実現のために女性の社会進出をいうのなら、子供が小学校に入学してからの支援をもっと充実させるべきだと思う。たとえば保育園のときは最長20時まで預かってもらえるのに、小学校の学童は18:30までなど働きにくさが目立ちます。学童での制限が多く、朝8時からで保護者の送迎が必要など… 男女に関わらず社会進出をいうのなら子育てや介護の充実が必要だと思います。また、性的マイノリティの方の問題でも、今だに真美ヶ丘中学校の制服でも男子の学ラン、女子のセーラー服などあまり配慮はないと思います。どの子も生きやすい世の中にするために、変えられるところからしてあげて欲しいです。</p>
<p>全体的に広陵町の制度改革は遅いと思います。女性の活躍の場を一刻も早く設けてください。</p>
<p>男女共同参画を目指すといった内容はよく耳にするが、実際に取り組み、実現している事が少ないと感じる。年齢層が上がる程、古い固定観念にとらわれている人が多いと感じる。行政は積極的に若年層の意見を取入れ、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んで頂きたいです。</p>
<p>子育て世代へのサービスの充実をしてほしい。現状では不足があると思う。</p>
<p>『積極的な女性の登用』という考えがおかしい。性別ではなく、優秀な人材を登用すべき。</p>
<p>働く女性の負担を減らす取り組みとして新聞にのっていたのですが、保育所に預ける時に布団や着替えを外部委託して、手軽に預けられる保育所がある様です。広陵町も考えて頂いたら有難いです。私の父は一人暮らしですが、足腰がしっかりして身の回りの事はできます。介護施設も預ければなしではなく、自分で洗濯や掃除など身の回りが出来る様な施設を使って頂いたらいいなと思いました。気軽に相談に行けるTELや窓口を増やしてほしいです。</p>
<p>介護と子育ては本当に女性が主にやっています。介護は力仕事だし、見て見ぬふりの男性が多すぎます。実際、稼がないので離婚したくてもできません。子供が預けられる環境（学童がいっぱいのために良い仕事先を見つけても就業時間が合わず就活すらできない）を強く希望します。また、男性は力が強く、何かあっても戦争に行くんだから男が上だという考えを持っています。女はだまって男が働きやすいように働くのが女だと、実際言われました。まだまだ化石の様な考え方の人がいます。助けて欲しい。浮気も女性（妻）の配慮足りぬから夫はよそに行くのだと。死ねよと思います。</p>
<p>学童、保育所など女性が当たり前で育てられる、仕事できるようなシステム作りが必要。</p>
<p>どうしても、料理は主に女性が担当することになり、負担感が多い。夏休み、冬休み、春休みにも小学校の学童で給食を提供してもらえると非常に助かる。また、フルタイムで働くことと習い事が土日集中したりし、家族で出かける時間の確保が難しくなるため、平日の学童中も習い事の送迎をもらえるサービスや、習い事を開催するサービス（もちろん有料で良いが）をしてもらえると有難い。違う市町村で、そのようなサービスをしていると聞くと、非常にうらやましく思う。どうぞ前向きな検討をお願いします。</p>
<p>女性が働きやすい社会にしていきたいが、保育料が大いに負担となり働くことを逆に難しくさせていると思う。しかし、保育料を必要とすることは理解できるため良いが、3人目以降という点において、就学前とのしほりを無くして欲しい。少子化と言われ子供の数を多くと言っているわりに、小学校に上の子がいたらカウント無しになると保育料が高くなる。矛盾していると思えない。王寺町のように同じ北葛として共通にして、小学校に行っても1世帯で1人目2人目、3人目等の数え方にしてほしい。そうすると、もう少し女性も外に出て仕事し、夫（男）同様の社会になっていくと思う。どうか改善をお願いします。</p>
<p>今後、男女両方とも独身でも不自由なく寂しい思いをせず暮らせる世の中であって欲しい。謂わば「老後サービス（孤独死を未然に防ぐ）の提案」を推奨致します。</p>
<p>特に女性が子どもを持ってもっと働きやすい社会になれば良いと思います。パートナーとの関係で生じるいろんな事象も身近に相談できる方法や窓口が増えれば良いと思います。「男」「女」ではなく、個人として行きやすい社会を望みます。昔に比べれば、制服ひとつとっても多様な物を選べる様になってきている様ですし、パパらしき人や高齢者の男性もスーパーで買い物されているのも普通になってきています。孫たちにも家事は誰かの仕事ではなく、家族皆の仕事と教えています。「家事」「介護」の現場を誰でも担え、サポートしてもらえる、そんな環境整備が進む社会になって欲しいです。</p>
<p>広陵町に限らず男女共にワークライフバランスがとれた社会になって欲しいです。</p>

<p>子供を産みやすい環境づくり。</p> <p>子育て世代の女性が働きやすい環境を作ることが大切だと思うが、上司や管理職が子育てに参加してこなかった中高年の男性の場合、育児と仕事の両立の難しさをなかなか理解してもらえない。キャリアアップを目指しても、相当の覚悟と家族への負担を強いらなければならないことも多いと感じる。</p> <p>子育ての割合がどうやっても女性の方が多い。それは仕方ないことだとは思いますが、PTAが母親ばかりなのでもっと父親も参加しやすい環境ができればいいなと思う。</p> <p>女性が社会に出やすい環境を整える。また、男性は社会で働くものという社会通念の改善も必要に思う。</p> <p>保育園を充実しないと、女性の労働が確保されないので、男女共同参画を推進するにはまず、保育園の充実が必要だと思います。預けたくても入れない。または16:00お迎えの幼稚園しか空きがないと、大阪までの通勤時間を考えると仕事がもらえず、仕事に対する充実感すら感じなくなります。早めの解決をお願いしたいです。</p>
<p>【5】自分自身、選択の大切さ</p> <p>他人は変えられないので、まずは自分自身の考え、意識をしっかりもって、各自常に努力して生活向上の為頑張る。家族仲良く（色々あっても）、近所（まわりの関わる人）を思いやり、大切に謙虚に暮らせばいいかなと日々思っています（考えている）。男女共同参画について取り上げられている町（広陵町）ということを知りなかつたので、まずはこんな風に町は思っている、考えがあるという旨を町民にアピール。お知らせ、エコマミやスーパーに張り紙するとか、町民のみんなに知ってもらって、まず意識して知ってもらった方がいいのではと思いました。</p> <p>共同参画は人権重視の傾向がある様に思う。個人の資質を見て欲しい。その上での性差別は無になることが望まれる。</p> <p>家族の中でも、自分を尊重し、しっかり意見を言えるようにすること。思いやり。相手を尊重し合える。特に、考えて行動する。すべて自分自身だと思います。イエス・ノーをはっきり言う。</p> <p>1999年に「男女共同参画社会基本法」が施行されて以降、男女が均等に政治的、経済的、社会的利益を享受することが出来る社会にしようという取り組みが強く感じられるようになりました。とくに政治の世界・官公署関係などでは男子と女子が同等の能力・・・もしくは少しばかり女子の能力が劣っている場合であっても、男子よりも女子を昇進させる、または女子に重要なポストを任命するという動きがあるように感じられます。大企業においてもその風潮は感じられるものの、まだまだ一般の社会では男女平等は程遠いですし、また、そもそも男子と女子、平等であるという考えは素晴らしいことながら、体力的な面や体のづくりなど、すべてが男女平等とは言えないのが現実です。私が思うに、男女均等に政治的、経済的、社会的利益を享受できる、ではなく、その人自身が理想とする生き方を全うするために、男子や女子といった隔たりのない社会であることが大切だと考えます。結婚をして出産をしても、外で仕事をもって働きたいと考える女性のために、周りの者がその思いを尊重し、協力しようという意識を持ったり、また安心して子どもを預ける事の出来る環境などを整えることも大切です。そしてまた、結婚をし出産をしたら家事と育児に全力投球したいと言う女性にも、それを今どきの考え方ではないと言わず、受け入れられる社会であって欲しいです。要するに、問12の回答で述べたように、ひとりひとりが選んだ道を、否定するのではなく肯定し、応援できる社会であってほしいです。その人自身がその人らしく、その人が望んだ未来を誰かの意見に惑わされることなく進んでいける事が一番だと思います。行政の皆さんが多様化する社会に対応する様々な取り組みを提案して下さることは、とても有難いと思います。今後とも4649！</p> <p>このアンケート自体、答えにくいものが多かった。「女性は」「男性は」など分かれていたが、そのように一般的に分けて考えること自体が古い考え方なのではないか。「夫は仕事で妻は家事育児をする」でも「夫も妻も仕事と育児は半分ずつになる」でも、それぞれが自分の好きな様にしたらいいだけである。自分と配偶者でどのようにやっていくか相談したらいいだけで、本人達が納得しているのであれば、昔の様な妻は専業主婦でも問題ない。ただ、女性が働きたい場合に対応できるように、その対策は必要。</p> <p>男性優位、女性優位をねたみあうのではなく、誰もが自分の意志で“選択”出来る社会に近づけばいいなと思います。</p> <p>女性が活躍できる社会をつくるのは理想論だと思う。実際は女性で仕事を頑張っている人の未婚率が高かったり、離婚率が高い。効率的に仕事をするにも業種によっては限界がある。又、仕事に時間や体力、気力を割くあまり体を壊している人も周りでは少なくない。いまだに仕事もやれ、子供も産め、育てろ、介護しろと一生を通じて女性に求められることは多く、女性が社会に進出することが必ずしも幸せとは限らない。女性が安心して暮らすには、もっと選択肢のある社会にするべきだと思う。経済的な事が理由で社会に出ざるを得ない人が増えているだけ。</p> <p>「男は仕事、女は家庭」のような形に制限されるのは間違っていると思うが、私はそのような役割分担している家庭があっても良いと思う。同じように、女性が管理職になれないのは違うと思うが、子育てや介護等のことで自ら選択して管理職になる人が少なく、男性が多いのであれば、それが男女差別ではないと思う。男女に関らず、個々の選択肢を広げていくことが、男女共同参画社会につながると思う。</p> <p>男女平等は素晴らしい考えだと思いますが、本能、本質的に男にしかできないこと、女にしかできないことは必ずあると思います。あまり言い過ぎて、やりすぎることは結果的に人口減少を進め、日本経済にはデメリットも多い気がします。すべてが平等という考え方ではなく、選択肢を広く、多様性を理解できる社会になるように進めて行って欲しいです。</p>

<p>女性や性的マイノリティの方の社会進出の観点から施策を講じることが第一とは思いますが、そもそも性別を問わず心から参画したいと思える社会（政治、経済、地域活動等）になっているのか？という視点でも施策を検討していただくと尚良いかと思えます。参画したくない社会への進出を支援しても、男女共同参画の目的は達成されないと思えますので。</p> <p>たとえば今回のアンケートについて、回答方法を複数（郵送またはインターネット）設けられたことは、幅広い層に参画したいと思っていただける良い取り組みだと思います。（個人的には、郵送のみであれば回答しなかった可能性があります）</p> <p>今後も柔軟な発想で良いまちづくりを進めていってください。</p>
<p>男女共同参画は理想ですが、出産・育児は女性にしかなないことが多く、どうしても仕事を離れないといけない時間ができてしまいます。私の職場は福利厚生が充実していて、子育て世代への配慮もあり、働きやすい職場だとは思いますが同世代の男性や子供のいない女性と比べると圧倒的に時間は足りません。やりたい仕事をこなせないもどかしさがあり余裕がありません。フルタイムで働ける人たちを羨ましく思う一方、家庭も大事にしたいジレンマに日々悩んでいます。</p> <p>結局はないものねだりになっていると思うのですが、仕事の作業効率は上がっているし、子供はかわいいし、自分が納得する形で働き、生活し続けることが大事なのかなと思えます。</p> <p>その納得する形は個人それぞれだと思うので（仕事に重きを置くのか、家庭に重きをおくのか、両立したいのか）</p> <p>色々な選択肢、多様性が持てる世の中になると良いなと思えます。</p>
<p>男と女では、身体の構造自体が違うのだから、何もかも平等にとはいかないのが前提（授乳等）</p> <p>男は女はこうあるべきという考え方を排除し、個々の特徴を尊重するように話し合うことが大切だと思う。これからの日本を考えると、やはり子どもを産んで、子育てしやすいように周りの人を巻き込んでの行政の取り組みが期待される。</p>
<p>全てが白黒になる様な平等ではなく、人が一人の個人として全ての選択肢を自由に選択出来る意識が大切に思えます。</p> <p>女性らしさ、男性らしさと言う考えは基本的な大切だと思うので、適材適所、男女の縛りなく自由になればと思っています。</p> <p>しきたりは文化として大切にしたいですが、思い込みによる判断は無くしたいです。</p>
<p>働きたい人は働き続けられる環境が当たり前になってほしいとは思いますが、私自身、流産を繰り返したり産後の体調が悪くて、独身の時のような働き方をするのは無理だと断念しました。職場の理解はもちろん必要ですが、夫や義父母の「嫁は家において子育てすべきだ」という価値観を跳ね除けることも難しかったです。その人の気持ちや状況に応じて、選択肢がたくさんあって、どう選択しても周りから認めてもらえる社会になってほしいと思えます。</p>
<p>自分自身が生きたいように生きることができる社会を作るべきだと思う。そのような社会を作るためには社会には色々な人がいるということを一一人が知り、理解するべきである。</p>
<p>私の周りの女性の多くが自らのキャリアを高めるような働き方を望んでいない。責任があまりない仕事をしたいと考えている女性が多いと感じる。子育てがあるから諦めているのか、あまり目立つと他の男性や女性から疎まれるから自分を抑えているのか、そもそも楽をしたいのか、人それぞれの考え方があると思う。</p> <p>現在の男女共同参画を押し進めた先に果たして女性の望むライフスタイルが実現するのか疑問を感じる。1つの価値観を政策として押し付けた先に日本社会の成長があるのであれば有意義なものであるが、世の中には働きたくない、パートタイムで十分と考えている女性たちが多くいることも目を背けてはならない事実だと思う。</p> <p>男性も近年はがむしゃらに出世を目指したり、社会的地位を高めようとするのではなく、手に届く幸せを掴もうと考える人が増えているように感じる。それ自体は良いことだと思うが、小さくまとまってしまう人が増えると社会全体の成長が停滞してしまうのではないだろうか。</p> <p>男性も女性もなりたい自分を大きく持てる社会を目指すべきであり、その中でこそ男女共同参画を目指してほしい。</p>
<p>【6】 思いやり、協力の大切さ</p>
<p>男性だから、女性だからの区別なく協力し合える世の中になると良いですね。困った時はそっと手を差しだし、「ありがとう」で終わり。出来る人がし、損・得なく純粋に生きたいですね。相手をおもいやる心。</p>
<p>男女平等と言われますが、男には男の良いところ、女には女の良いところがあるので、何もかも同数にするような試みは必要ではないと思えます。夫々が無理なく、自由に、そして迷惑をかけるようなことなく過ごしていきたいものです。人生は独りぼっちではなかなか過ごしにくいものと思えます。そこでまず男女の夫婦が助け合い、いつしみあって家庭を大切に、足りないところを補い合って生活しましょう。そして外で働く人も家事を担当する人もお互いを尊重していきましょう。奈良県の女性の就業率が低いことを良くないと思っていただきたくありません。家庭内の「かかあ天下」「お母ちゃんは山の神」は日本の文化だと思います。広陵町のお母ちゃん恐るべし。家の要たれ。外に働きに行くことだけが男女共同参画とは思いません。</p>
<p>男女共同参画を実現するには、まず男女が平等でなければならない。更に相互がよく協力して信頼を得るようにしなければならない。それから強い絆を築き上げなければならない。このことを組織的に取り組んでいくようにすべきである。</p>
<p>個人個人の性格や能力を生かして、お互いの個性を尊重し合える社会になれば、この様な差別意識もなしに、当たり前前に生活できる気はします。</p>
<p>「男女共同参画社会」とは違うかもしれませんが。生活する中で、年代のちがいもあるけど、お隣さんとも年に2~3回話をする位で、知らない人の多い町内共同とか助け合いとか無縁の感じがする。あまりにも他人様で淋しい世の中。なぜこんなのだろうか、どうしたらいいのでしょうか。</p>

<p>尊重し合う社会になったらいいなと思います。</p>
<p>昔から男は仕事、女は家庭という考えが最近では少しずつ改善されている様ですが、根強く残っているのは事実だと思います。特に、高齢男性はそういう環境で育ち、長年あたりまえの日常を過ごして来ました。若い人から男女互いに協力し合って仕事と家事が両立出来る様な制度や環境を作っていけば、少しずつ良くなっていく様に思います。</p>
<p>もともとの男女の差というものはあると思うので、全く全て平等とはいかないと思っています。ただ決めつけるのではなく、それぞれが出来る事を協力できれば良いと思います。世代で考えは違うと思いますが、今の20代前半くらいよりも若い人たちは、男女共同で生活できている人も増えているのかなと感じています。</p>
<p>家庭の中の事ですが、現役の頃は家事など一切しない主人でしたが、定年になり家にいるようになってからは自分の親だからと母の介護をしてくれ、洗濯、ご飯炊きなどすごく協力してくれました。男女共同とはこういうことかなと思いました。思いやりがあれば助け合いながらできるのでしょう。男だから女だからではなく、出来る事を出来る人がやればいいかなと思います。</p>
<p>自分の若い時にくらべ、今は女性が仕事をもち子供が出来ても働かざるを得ない時代の様に思います。一方、男性の方も育休をとれる環境になく、仕事と家庭で大変な方も多いのではないのでしょうか。男子だから女子だからというのではなく、仕事でも家事でも自然に出来る方がやる、という時代になれば、もっと生き易い社会になると思うのですが。</p>
<p>考え方が古いというのがありますが、例えば子供を産み育てる事を女性の特権だと思っていました。しかし、仕事を続けているなら、産休育休をとらないといけません。それでも夫婦や家族が協力して子供を大切に育てる事に男女の区別はあまりないと思うのですが。社会に出て男女共同参画を問われれば、各々色々あると思いますが、男女に拘らず様々な人がいて、お互いに認め合い協力していける社会が理想ですね。</p>
<p>社会において、リーダーを女性にする、担当者の5割以上を女性にするなどの事を義務付けるような極端なことをしないと今の不平等は変わらないと思う そうすれば何故今の状況になっているかの理由が見えてきて次の段階に進めるのではないかと 家庭内については社会の変化によって変わってきているが究極は個人の問題、理解し納得し合うことが重要</p>
<p>【その他】</p>
<p>テーマが大きすぎてわかり辛いので、もっと身近な事、班の人とのコミュニケーションが大切。コロナになって余計そういう活動がない、そろそろ見なおして、以前のように、いやそれ以上に活動が活発になることだからだと思う。年寄りが多くなり、難しい事も多いが、防災なんかは身近な事だから。行事もクリーンキャンペーンもなくなり、人との関わりがなくなった。積極的に参加もしていかないとと思っている。</p>
<p>今がまだないが、今後親の介護問題が大きな課題となる。それまでに、生きやすい環境になっていて欲しい。</p>
<p>独身の頃は、定年まで正社員で働く女性になりたいと一生懸命頑張っていたけど、結婚・出産をして考えが一変した。子供には自分しかいないので、赤ちゃんから幼児期は自分がしっかりと育てたい。全ての成長を見ておきたいと思うようになった。近年は保育園等の充実が叫ばれているが、限界があると思う。一対一の育児にはやはりかなわないと感じる。もちろん育児を重視しない生き方もあると思う。園で社会を早くから知り、社会性を身に着けるのも良いと思う。各々の親の考え方による。それを外からのちからにより変化させられるか？女性の生き方も様々で多様化している現代では、行政がいくら男女共同参画社会へ力をいれて下さっても、個々の考え方を変化させるのは難しいと思う。ただ、子がおらず（持たず）仕事を一生懸命されている女性達には管理職の登用が進めば良いと思う。仕事の評価は男女関わらず平等にされるべき。そこは行政の支援に関わらず、企業や団体が当然行うべき意識改革である。</p>
<p>アンケートに答えてきましたが、年齢によってずいぶん変わってきています。若い人達は若い人達の意見があり、色んな世代の人たちの意見を沢山聞いていくことが大事だと思います。ただ、今の若い人達は、生活をずることに必死です。それも、世の中がもっと考えてくれたらと思います。大変な世の中に生きている若いお父さん、お母さん達の声を聞いてあげて欲しい。また、私達中高年の者達の声もお願いしたい。</p>
<p>生まれながらにして男性と女性は違うのですから、色々な場合において、無理やり同じにしなくてもいいのではないでしょうか</p>
<p>私の地区では正規の共働きをしている夫婦は数件しかない（パート等で週何回か働いている人はいる）、何よりも若い人が出ていく傾向が強く、若い夫婦が少なくなっているのが現状である。先日新聞で御杖村が、今年から移住・定住を促進する取り組みを始めた事が報道されていた。若い移住者（夫婦）が、20年度21世帯、21年度32世帯と増えているそうだ。広陵町も人口は増えているが、若い世帯は少ないのではないかと。何とか工夫して「広陵町ファン」を獲得し、若い人たちを呼び集める事はできないか。（この案件とは少し主旨が違うかもしれないが）</p>
<p>65歳以上の高齢者の雇用の確保をしてもらいたい。シルバー人材センターの仕事だけでは生活できない。シルバーの仕事の賃金体系はどのようになっているのか？国が定めた最低賃金より安い。これからは、男女より高齢者が活躍できるようにするべきだ。（ボランティアではなく、収入を伴う）</p>
<p>男女が共に暮らす中で、どちらも負担や不満なく暮らすことはありえないと思う。 ストレスを感じることを減らすことに重点を置くのではなく、そのストレスと上手く付き合える方法、ストレスの解消方法や解消機会の増加に力を入れてほしい。 人それぞれ得意不得意があるので、どちらもなんでも平等にすればいいとは思わない。</p>

まず、今回のインターネット回答に関してですが書面のURLが間違っていましたので掲載される前にリンク先へ飛ぶかご確認ください。（1&clientid→l&clientidになっており、手打ち入力では飛びませんでした）QRコードのリンク先は正しく記載されていました。

ここ3年でかなり社会情勢が進んだと思われませんが、実際の生活環境下で様々な人の認識が改定されていないところが多いともいます。人は厄介な事を言うてくる人に対して、抵抗して挑むことより、回避することが多いと思います。他人であっても、家族であっても「相手が変わらない」「理解が得られない」と思う相手には「関わらない事にする」方が手っ取り早く、自分の安全を確保できる方法だと思います。

男女共同参画を進めるためには、この厄介な人種に対して「関わらない」という選択ができないのが難しいです。

今の社会が住みやすくなってきているのは先輩たちの作ってくれた道があるからだと思いますが、これ以上のスピードで暮らしやすい社会を作るために厄介な人種を追い出すか、悔い改めて（問題意識すらないでしょうが）もらうしかないのでしょうか。

社会全体を見れば後者の意見をを進めるべきですが、安易なのは前者だと思います。

社会ピラミッド、各年代の人中から「男女共同参画」の認識が高い人だけをすくい上げて同じ地域の中に住んでもらえればすぐに「住みよい社会」を形成させられると思います。

良い意味でも悪い意味でも、**同じ認識の近い人を集めるとお互いの認識が近いがゆえに問題が発生しづらくなり住みやすくなるのではないのでしょうか。**

男女共同参画を提案、推進するのは良いが、そうあるべき、そうするべき、というようなべき論とならないよう、反対意見や、懸念点も同じように発信し、**議論を活発化**していくことが必要と考えます。

男女平等に過ごせるように国が動かないと行けないと思う

地域で動くのは無理があるため、**議員が意見を持っていき現実的な意見を出して国にあげて**行って欲しい